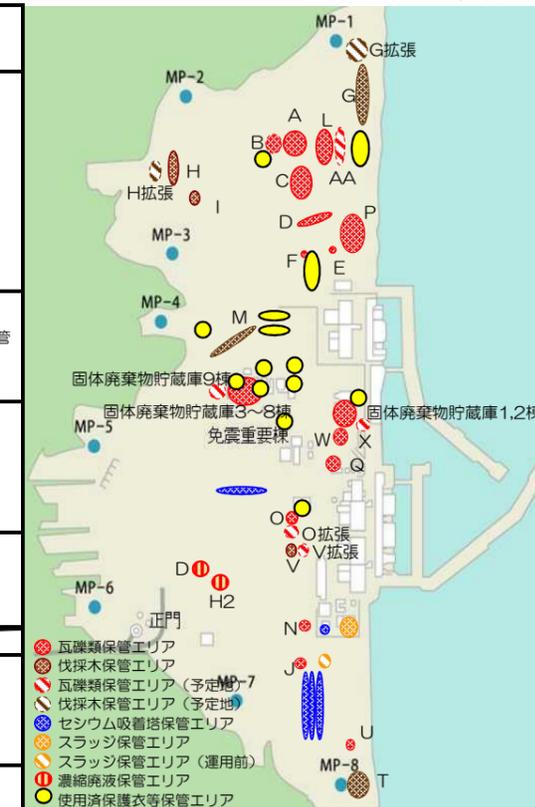


瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2017.3.31 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界空間線量率(mSv/h)	保管量*1	前回報告比*2(2017.2.28)	変動*3理由	エリア占有率	保管量/保管容量(割合)	トピックス
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.02	2,800 m ³	0 m ³	—	85%	141100 / 181200 (78%) ・フランジタンク解体片 エリアPにて一時保管中。(2015年6月15日～) 2017年3月末時点で353基(コンテナ)保管。 ・エリアCにて、エリアWの解体車両等受入中。
		C	屋外集積	0.01未満	54,300 m ³	+600 m ³	①②	86%	
		F	屋外集積	0.01未満	6,400 m ³	0 m ³	—	85%	
		J	屋外集積	0.01	4,300 m ³	0 m ³	—	89%	
		N	屋外集積	0.01	4,500 m ³	0 m ³	—	45%	
		O	屋外集積	0.01未満	26,200 m ³	0 m ³	—	95%	
		P	屋外集積	0.01	41,900 m ³	微減 m ³	—	65%	
	シート養生 (0.1～1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m ³	0 m ³	—	88%	30500 / 57300 (53%) ・エリアWは、車両解体(プレス等)及びエリア内配置整理により保管量減。
		E	シート養生	0.01	12,900 m ³	+500 m ³	③④	80%	
		P	シート養生	0.02	5,500 m ³	-200 m ³	⑤	61%	
	覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1～30mSv/h)	W	シート養生	0.04	9,500 m ³	-2,400 m ³	②	32%	20600 / 27700 (74%) ・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。
		L	覆土式一時保管施設	0.01未満	12,000 m ³	0 m ³	—	100%	
		A	仮設保管設備	0.30	2,000 m ³	+100 m ³	①	28%	
E		容器*4	0.02	300 m ³	0 m ³	—	19%		
固体廃棄物貯蔵庫	F	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99%	8200 / 12000 (68%) ・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。	
	Q	容器	0.09	5,700 m ³	0 m ³	—	93%		
	容器*4	0.02	8,200 m ³	+100 m ³	①⑥	68%			
合計(ガレキ)				200,400 m ³	-1,300 m ³	—	72%		
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	H	屋外集積	0.01未満	14,700 m ³	0 m ³	—	74%	58500 / 81500 (72%) ・工事により発生した幹・根を随時受入中。
		I	屋外集積	—	0 m ³	0 m ³	—	0%	
		M	屋外集積	0.01未満	39,500 m ³	微増 m ³	—	88%	
		V	屋外集積	0.01	4,300 m ³	-1,200 m ³	⑦	71%	
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	8,500 m ³	0 m ³	—	65%	19600 / 24900 (79%)
T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94%			
合計(伐採木)				78,100 m ³	-1,200 m ³	—	73%		
保護衣	屋外集積	容器	0.03	66,800 m ³	+1,900 m ³	⑧	94%	66800 / 71200 (94%) ・2017年2月12日～雑固体焼却設備点検停止中 ・使用済保護衣等焼却量 1519t(2017年3月末累積) ・焼却灰のドラム缶数 280本(2017年3月末累積)	
合計(使用済保護衣等)				66,800 m ³	+1,900 m ³	—	94%		
運用予定エリア	瓦礫類	X	シート養生	0.01	200 m ³	0 m ³	—	—	・2017年4月3日～運用開始 ・車両解体工事スペース確保のため、エリアWより持込み
伐採木(幹・根)	H拡張	屋外集積	0.01未満	10,500 m ³	0 m ³	—	—	・2017年4月3日～運用開始 ・土捨場造成工事に伴い、エリアIより持込み	
合計(運用予定エリア)				10,700 m ³	0 m ³	—	—		

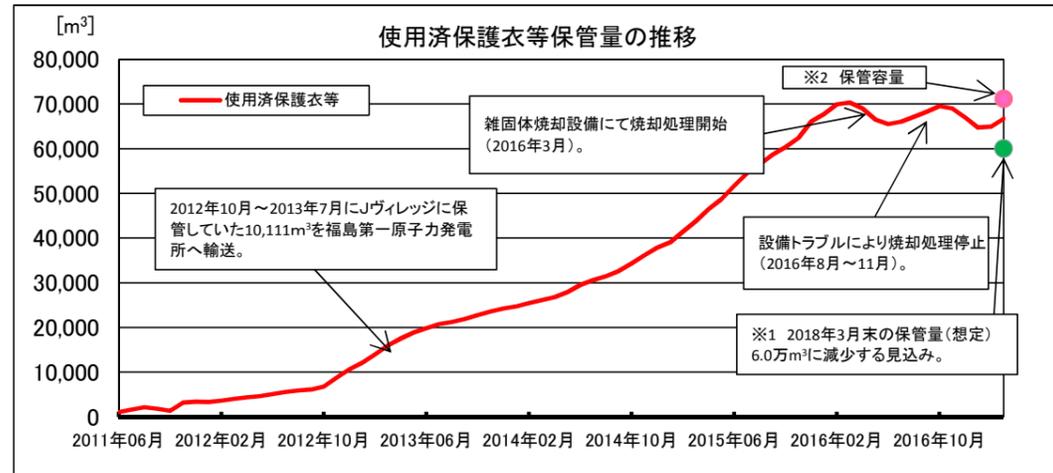
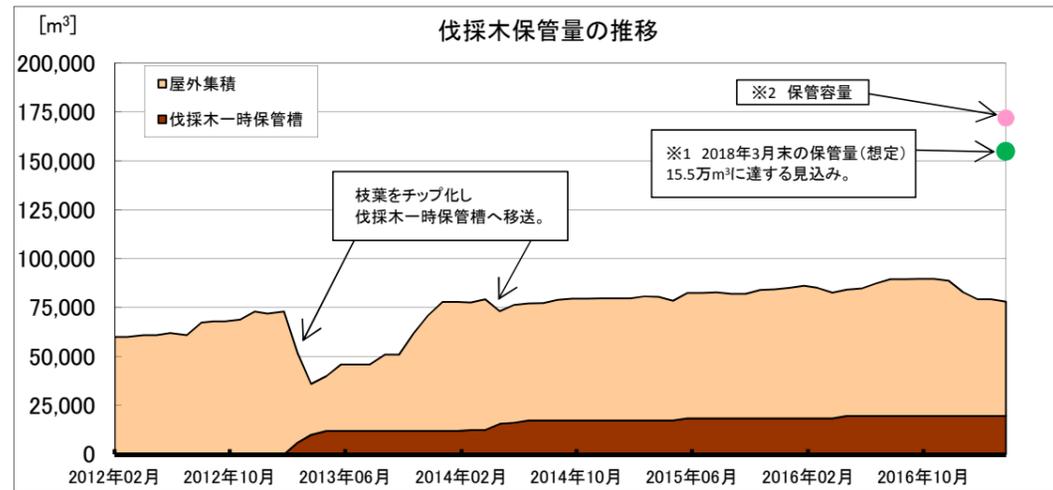
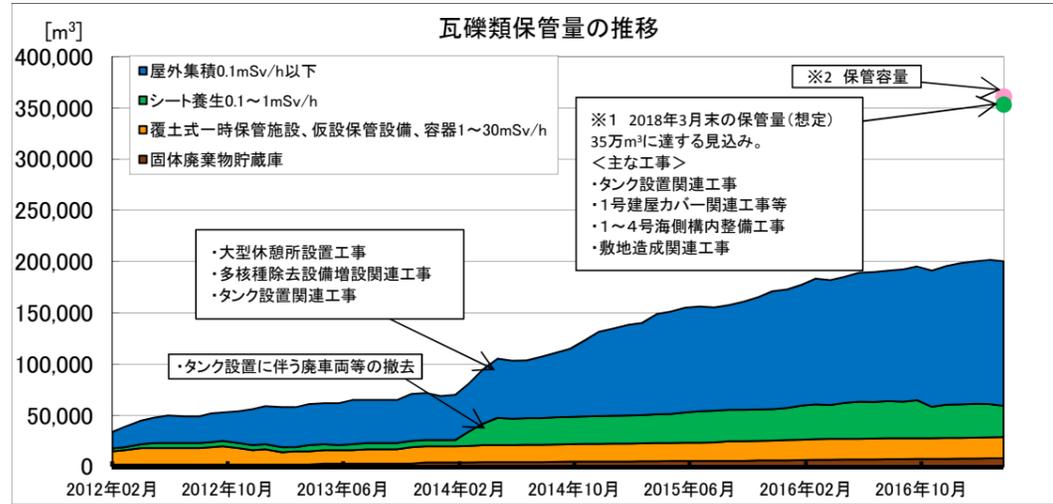


※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※2 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※3 主な変動理由：①1～4号建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ②車両解体工事 ③一時保管エリアPから金属瓦礫の受入 ④敷地造成関連工事
 ⑤金属瓦礫を一時保管エリアEへ移動 ⑥水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)の保管 ⑦チップ化処理のため伐採木の取出 ⑧使用済保護衣等の受入
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。

水処理二次廃棄物の管理状況(2017.4.20時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比(2017.3.23)	保管量/保管容量(割合)	トピックス
水処理二次廃棄物	使用済吸着塔保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	758 本	0 本	3601 / 6239 (58%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日)
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	186 本	+4 本		
		多核種除去設備等保管容器	1,357 基	+17 基		
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	73 本	0 本		
		多核種除去設備処理カラム	9 塔	0 塔		
		モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	190 本	0 本		
廃スラッジ貯蔵施設	廃スラッジ	597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。	
濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,356 m ³	+23 m ³	9356 / 10700 (87%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) ・水位計0%以上の保管量：9256 [m] ・タンク底部～水位計の保管量(DS)：約100[m]	

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2017.3.31 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2017年3月1日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、実施計画(2017年3月1日認可)の保管容量の運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2017.4.20時点)

